学校番号	３０８

令和８年度　地理歴史科

教科	地理歴史科	科目	日本史探究	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	「高校日本史」　（山川出版）						
副教材等	「詳細日本史」　（浜島書店）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・授業では、歴史に関する諸事象について理解するだけでなく、1 年次の歴史総合や地理総合で学んだ知識や情報を関連づけながら様々な角度から考察・構想したり、考察・構想したことを適切かつ効果的にまとめて他者に説明したり、またそれらを基に他者と議論したりする協働的な活動を行います。自分の意見を他者の意見と比較して再度検討したり、必要な場合は修正したりしながら考えを深めましょう。
・授業では、教科書と資料集を必ず用意してください。
・授業で配布される授業プリントについては、ただ板書を書き写すだけでは不十分です。授業担当者が口頭で説明したポイントや、教科書・資料集から読み取れる情報、自分自身で気づいたことや疑問、クラスメイトの発言内容を記入するなどして、授業に主体的に取り組むように心がけましょう。

2　学習の到達目標

社会的事象の見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる公民としての資質・能力を次の通り育成することを目ざす。

(1)対外政策の変容と開国、幕藩体制の崩壊と新政権の成立、立憲体制の移行、国民国家の形成、アジアや欧米諸国との関係の変容、産業の発展の経緯と近代の文化の特色、大衆社会の形成、第二次世界大戦に至る過程及び大戦中の政治・社会、国民生活の変容、我が国の再出発及びその後の政治・社会や対外関係、現代の政治や社会の枠組み、国民生活の変容などについて、地理的条件や世界の歴史と関連付けながら総合的に捉えて理解するとともに、近現代の特色を示す適切な歴史資料を基に、資料から歴史に関わる情報を収集し、読み取る技能を身につけること。

(2)歴史に関する諸事象の意味や意義などを、東アジアの国際情勢の特色・変化とその影響、権力主体の特色と変化、社会の変化と文化との関係などに着目して、多面的・多角的に考察したり歴史にみられる課題を把握し構想したりする力や、考察・構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。

(3)歴史に関する諸事象について、課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、他国や他国の文化を尊重することの大切さについてなどの自覚を深める。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	黎明期の日本列島の歴史的環境や文化の形成、原始から古代の政治・社会や文化の特色、古代から中世への時代の転換、武家社会の伸長などについて、地理的条件や世界の歴史と関連付けながら総合的に捉えて理解するとともに、諸資料から我が国の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につけている。	歴史に関する諸事象の意味や意義などを、東アジアの国際情勢の特色・変化とその影響、権力主体の特色と変化、社会の変化と文化との関係などに着目して、多面的・多角的に考察したり、歴史にみられる課題を把握して構想したりできる。また、考察・構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりできる。	歴史に関する諸事象について、課題を主体的に探究しようとしている。また、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民といての自覚、他国や他国の文化を尊重することの大切さについてなどの自覚を深めている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	第1章　日本文化のあけぼの	1　日本文化の始まり 2　農耕の開始	a:旧石器から縄文文化への変化、弥生文化の成立などを基に、黎明期の日本列島の歴史的環境と文化の形成、原始社会の特色を理解している。 b:自然環境と人間の生活との関わり、東アジア及び太平洋地域との関係、狩猟採集社会から農耕社会への変化などに着目して、環境への適応と文化の形成について、多面的・多角的に考察し、表現している。 c:「自然環境の変化は人びとの生活にどのような影響をあたえたのだろうか」などの問いに対し、意見交換をはじめとする対話的な学びに主体的に取り組んでいる。また、教師や生徒相互の評価を受けて振り返りを行い、再度考察・構想するなど理解を深める工夫をしている。	定期考査	定期考査 ワーク	授業プリント ワーク レポート

1学期	第2章 古墳とヤマト政権	1 古墳文化の展開 2 飛鳥の朝廷	a:国家の形成と古墳文化などを基に、原始から古代の政治・社会や文化の特色を理解している。 b:東アジアとの関係、中国王朝との関係と政治や文化の影響などに着目して、小国の形成と連合、古代の国家の形成の過程について、事象の意味や意義、関係性などを多面的・多角的に考察し、表現している。 c:「古墳と政権はどのような関係があるのだろうか」などの問いに対し、意見交換をはじめとする対話的な学びに主体的に取り組んでいる。また、教師や生徒相互の評価を受けて振り返りを行い、再度考察・構想するなど理解を深める工夫をしている。	定期考査	定期考査 ワーク	授業プリント ワーク レポート
2学期	第3章 律令国家の形成	1 律令国家への道 2 平城京の時代 3 律令国家の文化 4 律令国家の変容	a:律令体制の成立過程と諸文化の形成などを基に、東アジアの情勢と政治や文化の関係や仏教の受容と影響などについて理解している。 b: 律令体制の成立過程や奈良時代の政治の動向、中国王朝からの使節の派遣による直接的な文物の導入を契機とする仏教の興隆などについて、事象の意味や意義、関係性などを多面的・多角的に考察し、表現している。 c: 「なぜ律令制度の導入が急速に進められたのか」などの問いに対し、意見交換をはじめとする対話的な学びに主体的に取り組んでいる。また、教師や生徒相互の評価を受けて振り返りを行い、再度考察・構想するなど理解を深める工夫をしている。	定期考査	定期考査 ワーク	授業プリント ワーク レポート
2学期	第4章 貴族政治の展	1 摂関政治 2 国風文化 3 荘園の発達と武士団の成長	a:貴族政治の展開、平安期の文化、地方支配の変化や武士の出現などを基に、律令体制の再編と変容、古代の社会と文化の変容を理解している。 b:地方の諸勢力の成長と影響、東アジアとの関係の変化、社会の変化と文化との関係などについて、事象の意味や意義、関係性などを多面的・多角的に考察し、表現している。 c:「摂関や受領がうまれてきた背景	定期考査	定期考査 ワーク	授業プリント ワーク レポート

	開		は何だろうか」などの問いに対して、意見交換をはじめとする対話的な学びに主体的に取り組んでいる。また、教師や生徒相互の評価を受けて振り返りを行い、再度考察・構想するなど理解を深める工夫をしている。			
3学期	第5章 院政と武士の進出	1 院政の始まり 2 院政と平氏政権	a:貴族政治の変容と武士の政治進出、土地支配の変容などを基に、古代から中世への時代の転換を理解している。 b:権力の主体の変化、東アジアとの関わりなどについて、事象の意味や意義、関係性などを多面的・多角的に考察し、表現している。 c:「摂関政治が衰退して院政が成立し、武士が台頭してくるのはなぜか」などの問いに対して、意見交換をはじめとする対話的な学びに主体的に取り組んでいる。また、教師や生徒相互の評価を受けて振り返りを行い、再度考察・構想するなど理解を深める工夫をしている。	定期考査	定期考査 ワーク	授業プリント ワーク レポート
3学期	第6章 武家政権の成立	1 鎌倉幕府の成立と展開 2 モンゴルの襲来と幕府の衰退 3 鎌倉文化	a:武家政権の成立と展開、産業の発達、宗教や文化の展開などを基に、武家政権の伸長、社会や文化の特色を理解している。 b:公武関係の変化、ユーラシアとの交流と経済や文化への影響などについて、事象の意味や意義、関係性などを多面的・多角的に考察し、表現している。 c:「武家政権の成立・成長によって、政治や社会における武士の地位や立場はどのように変化したのだろうか」などの問いに対して、意見交換をはじめとする対話的な学びに主体的に取り組んでいる。また、教師や生徒相互の評価を受けて振り返りを行い、再度考察・構想するなど理解を深める工夫をしている。	定期考査	定期考査 ワーク	授業プリント ワーク レポート

※ 表中の観点について a:知識・技能 b:思考・判断・表現 c:主体的に学習に取り組む態度